

焦点 | Vol.44 No.2 (2011 年 3-4 月) 看護学におけるケアリング

- ケアリングの概説 筒井真優美
- ケアリングの研究動向 山内朋子／筒井真優美
- ワトソンのケアリング論 江本リナ
- ケアリングの教育 安酸史子
- ケアリングの測定用具について 宮脇美保子
- 看護学生のヒューマンケアリングの意味と価値を深めるための
ポートフォリオの活用—日本赤十字広島看護大学の取り組み 戸村道子

連載●看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・2 坂下玲子

●編集顧問(五十音順)

小島 操子
聖隷クリストファー大学・教授(学長)

中島紀恵子
日本看護協会看護教育研究センター・
センター長

中西 睦子
国際医療福祉大学・教授(看護学科長)

前原 澄子
京都橘大学看護学部・教授(学部長)

南 裕子
近大姫路大学・教授(学長)

●編集協力者

阿曾 洋子／荒川 靖子
井部 俊子／蝦名美智子
太田喜久子／岡谷 恵子
片田範子／金井 Pak 雅子
上泉 和子／川口 孝泰
河口てる子／川村佐和子
黒田 裕子／高橋 泰子
近田 敬子／筒井真優美
水流 聡子／野嶋佐由美
早川 和生／舟島なをみ
村嶋 幸代／森 恵美
安酸 史子／山本あい子
横尾 京子

編集後記

●今年も1年、よろしくお願いいたします。新年にあやかって一部レイアウトを模様替えし(編集後記もこっそり短くしてみました)。さて、今年最初の焦点は、近年つとに関心が高まる現象学です。西村氏を中心に、哲学領域等で第一線の活躍をされている方々にも執筆いただき、質量ともに充実の内容になりました。「現象学的看護研究は、現象学的哲学に内実を与えることができる」(本焦点・松葉氏)。ぜひご一読(熟読)を！●弊誌にはかつて「研究を志す人のために」という連載がありました。偶然にも、その連載開始(14巻1号)から今年で丸30年。長い歳月は変化と同時に普遍のものを教えてくれます。大学院の数が増え、研究の質が一層問われる昨今、「いまさら」ではなく「いまだからこそ」と捉え、坂下氏の新連載スタートです。ご意見ご要望お待ちしております！●中山氏の特別記事で描かれるのはまさに変化と革新です。ファンタジーさながらの昔の未来予想図は現実となり、世界を見る窓は小さく、窓から広がる世界はますます大きくなりました。本記事を端緒に、研究の可能性を拓くたくさんのつながりが、そこに見いだされればと願います。
(小長谷)

看護研究 第44巻 第1号(通巻229号) 2011年2月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2011, Printed in Japan

1部定価1,890円(本体1,800円+税5%)

2011年々ぎめ予約購読料(税込、配送料弊社負担、増刊号を含む年7冊)：

冊子のみ12,600円 冊子+電子版17,600円 電子版/個人12,600円 電子版/共有14,490円

発行 株式会社医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600 『看護研究』編集室(03)3817-5775 担当/小長谷・伊藤

電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【COPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、e-mail info@copy.or.jp)の許諾を得てください。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0022-8370/11/ ¥360/ 論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき360円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

看護研究バックナンバー(内容紹介)

Vol.43
No.7

NOV
DEC

焦点 | 新たな創造に向けた看護研究 先端的試みをどう活かすか

- 先端研究を看護実践に活用する 川口孝泰
- 先端研究を応用したバイタルサイン測定法の開発
看護情報学の確立に向けた取り組み 川口孝泰・白鳥和人
- 知覚を客観的に評価する 看護実践のエビデンスを確立するために 佐伯由香
- 臨床応用に向けた遠隔看護(テレナーシング)の実際と意義 東 ますみ
- ICT(information and communications technology)を活用した健康支援プログラムの開発
人工股関節全置換術を受ける患者の環境移行に着目して 佐藤政枝

●特別記事

タイムスタディ研究の進展 タイムスタディによる看護業務の観測と構造化

清水佐知子・大野ゆう子・岩佐真也・富澤理恵・尾島裕子・林 剣煌・坂田奈津美・大西喜一郎

Vol.43
No.6

SEP
OCT

焦点 | 看護学における Translational Research

振動による褥瘡の治癒促進をめざした機器開発・検証のプロセス

- 看護学 Translational Research の構想とプロセス
真田弘美・長瀬 敬・須釜淳子
- 【二一歳の把握】
- 寝たきり高齢者の下肢褥瘡発生要因 大桑麻由美・須釜淳子・真田弘美・大江真琴
- 【シーズを見いだす・病態メカニズムの解明】
- 振動による微小循環変化のメカニズム 市岡 滋・横川秀樹・関谷直美・仲上豪二郎・真田弘美
- 【仮説の検証】
- 振動による血流促進効果の検討 仲上豪二郎・浦崎雅也・北川敦子・真田弘美
- 【証明—振動による効果の検証：臨床試験パート1】
- 振動による Stage I 褥瘡の治癒促進効果 須釜淳子・嵐 碧
- 【証明—振動による効果の検証：臨床試験パート2】
- 壊死組織を有する褥瘡に対する振動の効果 宮永葵子・須釜淳子
- 【人材育成：臨床・教育プログラム開発・検証】
- 重度褥瘡ケアにおける高度創傷管理技術教育のプログラム開発とその評価
貝谷敏子・真田弘美・須釜淳子・宮地良樹・館 正弘・長瀬 敬・松山 裕

Vol.43
No.5

Suppl.

焦点 | 看護ケアの質評価と改善 研究の成果と今後の発展に向けて

- 看護の質を示すさまざまな指標 鄭 佳紅
- 【NDNQI®について】
- Development of Nursing Quality Indicators for the National Database of Nursing Quality Indicators®(NDNQI®) Nancy Dunton
- 翻訳 全米看護の質指標データベース(NDNQI®)のための看護の質指標の開発 Nancy Dunton / 訳：坂下玲子
- Nursing Leadership at Its Visionary Best Isis Montalvo
- 翻訳 時代を超える看護リーダーシップ Isis Montalvo / 訳：坂下玲子
- 【看護ケアの質評価・改善システムについて】
- 座談会 日本における看護の質改善システムを確立するために—看護 QI システムでできること
上泉和子・片田範子・内布敦子・坂下玲子・鄭 佳紅・永池京子
- 看護 QI 開発の歴史 上泉和子
- 構造評価 坂下玲子
- 過程評価 鄭 佳紅・村上真須美
- アウトカム評価 桜井礼子・福田広美・栗屋典子
- 看護実践過程のテキストマイニング 新居 学
- 看護 QI システムにおける評価報告書とリコメンデーションの作成 内布敦子
- The Knowledge Based Nursing Initiative(KBNI) : Linking Research to Practice and Practice to Research through Electronic Health Information Systems Norma M. Lang・Sally P. Lundeen
- 翻訳 知識に基づく看護イニシアティブ(KBNI)—研究を実践へ、実践を研究へ結びつける電子医療情報システム
Norma M. Lang・Sally P. Lundeen / 訳：坂下玲子

定価1,890円(本体1,800円+税5%) 雑誌 02411-02

消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。



4910024110219
01800

2026/09/21 04:16:04